

エル・グレコ再考 1541—2014 年：研究の現状と諸問題



修道士パラビシーノの肖像

日時 2013 年 1 月 21 日 (月) 午後 1 時—6 時
(午後 12 時 30 分開場)

場所 早稲田大学 大隈小講堂

主催 早稲田大学美術史学会

後援 スペイン大使館、日本スペイン協会、美術史学会、
地中海学会、早稲田大学総合人文科学研究センター、
朝日新聞社

助成 鹿島美術財団

入場無料。一般聴講者には当日 12 時より整理券を配布
(先着 200 名)

プログラム

午後 1 時

- ・趣旨説明 「エル・グレコ像の変転と復権」 大高保二郎 (早稲田大学)
- ・基調講演 「エル・グレコ神話を問う：画家の資料と著述を解読しながら」
フェルナンド・マリーアス (マドリード・アウトノマ大学教授)

午後 3 時 20 分

- ・研究報告
 1. 「エル・グレコとビザンティン美術」 益田朋幸 (早稲田大学)
 2. 「《燃え木を吹く少年》をめぐって
—エル・グレコと同時代ヴェネツィア絵画—」
越川倫明 (東京藝術大学)
 3. 「エル・グレコとヴァザーリ—初期男性裸体素描の再検討を
中心に—」 松井美智子 (東北学院大学)
 4. 「エル・グレコのパラゴーネ」 松原典子 (上智大学)
 5. 「エル・グレコ、歴史意識、マニエラ」 岡田裕成 (大阪大学)

午後 5 時 30 分

- ・総括 司会進行 川瀬佑介 (国立西洋美術館)、大高保二郎
通訳 久米順子 (東京外国語大学)、補佐 川瀬佑介

* 逐次通訳あり

* 休憩、質疑応答の時間有

早稲田大学美術史会 (<http://www.waseda.jp/bun-arthistory/index.html>)

エル・グレコ シンポジウム事務局 (greco.sympto@gmail.com)



無原罪のお宿り